

新型コロナウイルス感染症（京都市内における先週（9/13～19）の状況）

◆先週の特徴など

○概況

先週（9/13～19）の新規感染者数は、先々週（9/6～12）から△8人（△22.2%）減の28人と更に減少したものの、連日一定数が確認されており、減少傾向から横ばいに移りつつあります。逆に、感染経路不明の新規感染者は増加（1人、7.6%）しています。また、複数の市立学校において感染が確認され、新規感染者のおよそ3割（8人）は中学・高校生でした（集団感染が確認された市立中学校では、全ての生徒（625名）、教職員（51名）について、医師の判断の下、積極的疫学調査やPCR検査を進めています。）。

このように、感染者が急増するおそれはまだ十分にあります。

9月は「京都市コロナ感染防止徹底月間」です。新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、一層の取組をお願いします。

○学校における感染拡大防止について

6月末以降の流行拡大については、学校の授業再開の影響も背景にあるといわれています。実際、夏休みに入って全国的に感染者数が減少しはじめ、また、新学期の開始とともに増加に転じつつあるように思われます。

各学校において感染拡大防止の様々な取組が行われていることもあり、児童・生徒の感染者数や重症例は比較的少なく推移していますが、新型コロナウイルスは人と人との接触を介して感染していくため、当然、**学校生活にも感染のリスク、場合によっては、クラスター発生のリスクは潜んでいます。**

また、既にお知らせしたとおり、発症日直後は最もウイルスの量が多く、他人に感染させやすいといわれています。発熱や咳、のどの痛みなどの症状があるにもかかわらず、授業や課外活動に熱心に取り組むあまり、感染した人が無理をして登校したために、大きく感染が広がってしまうという事例が現実起こっています。

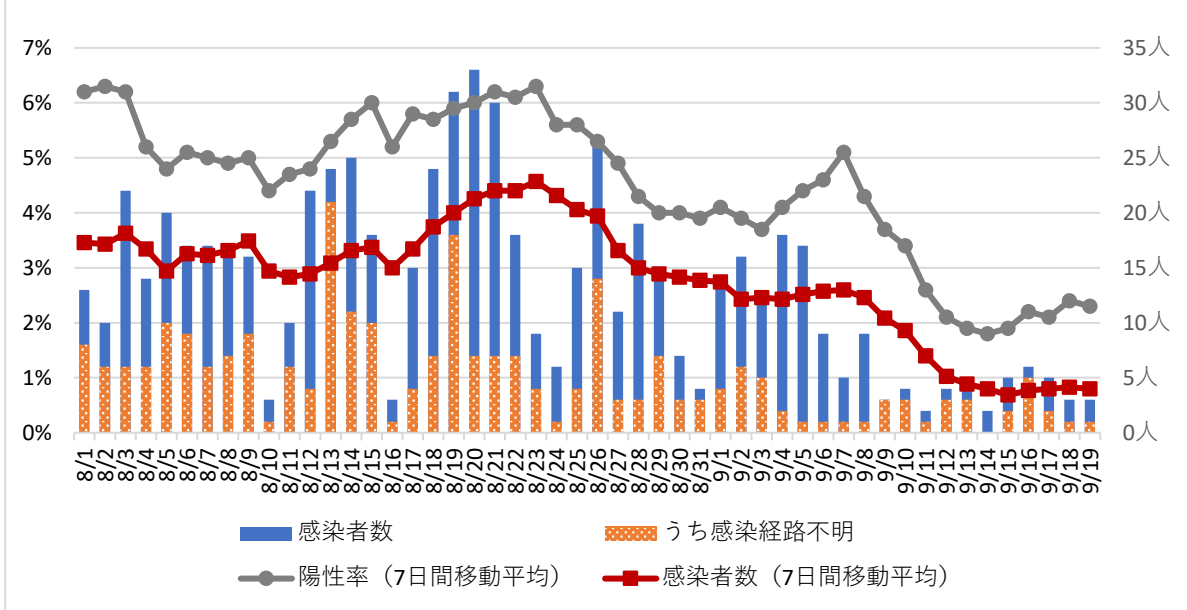
教職員はもとより、児童・生徒の皆さんも、少しでも調子が悪いと思ったら、その日は無理をせず、必ず休みましょう。新型コロナウイルス感染症の初期症状は風邪と似ていますので、風邪かな、体調が悪いなと感じたその日こそ、大事をとって、かかりつけ医などに相談してください。

また、児童・生徒は、学校は休んではいけないものと考えがちです。保護者の皆さんや先生など、周りの大人の皆さんが児童・生徒の体調をしっかりと管理し、「無理せずに休む」を徹底していただくようお願いします。

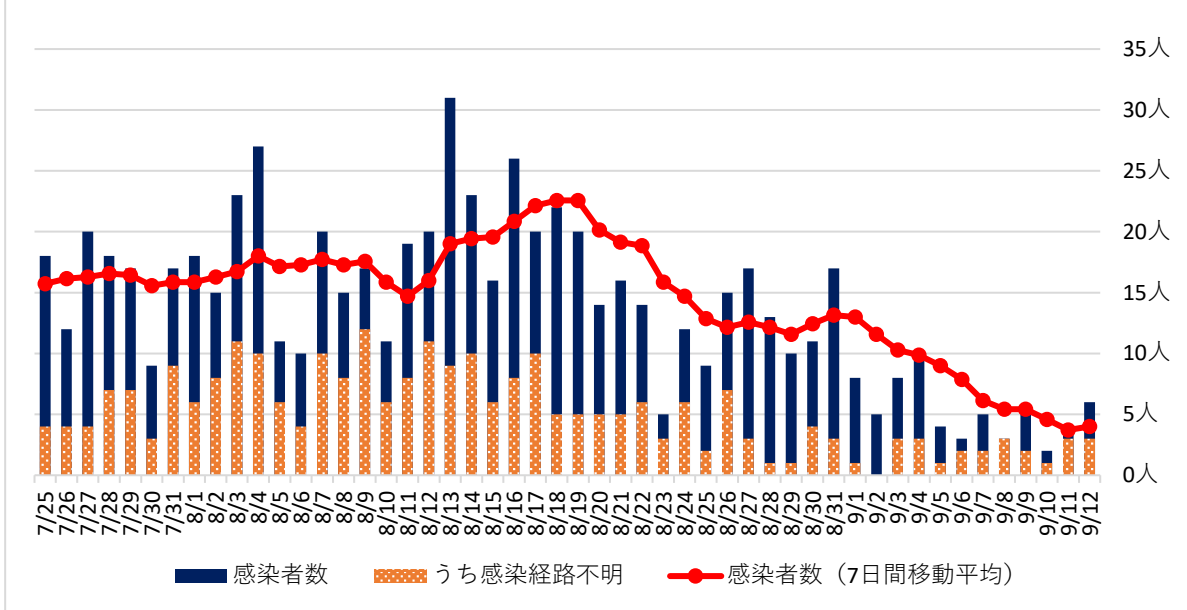
◆新規感染者数

先週の新規感染者数	28人 前週比△8人	1日当たり平均	4.00人 前週比△1.14人
感染経路判明	14人 (50%)	10万人当たり新規感染者数/週	1.92人
感染経路不明	14人 (50%)	PCR検査陽性率 (7日間移動平均)	2.3%

新型コロナウイルス感染者数（京都市内，日別）



新型コロナウイルス感染者数（京都市内，発症日別）



◆病床の状況

	9月13日	9月14日	9月15日	9月16日	9月17日	9月18日	9月19日
重症者病床使用率	1.2% (1人/86床)	1.2% (1人/86床)	1.2% (1人/86床)	1.2% (1人/86床)	1.2% (1人/86床)	1.2% (1人/86床)	1.2% (1人/86床)

- ・療養中患者数（9月19日現在） 78人（前週比△50人）
先週の新規感染者（28人）のうち，検体採取時に「無症状」の方は6人です。

◆感染者の年代

